

## (参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	1 神戸市における浸水対策の推進 (防災・安全)										重点配分対象の計画																									
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)					交付対象	神戸市																													
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。																																			
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地、郊外部の土地利用状況等をふまえた河川整備計画に基づき、妙法寺川を50年確率規模(上流部30年確率規模)、伊川・櫛谷川を30年確率規模で改修を行い、改修率を55% (H27)から62% (H31)に進捗させる。</li> <li>災害予防を重視し、予防徹底のため、浸水が想定されている河川のうち、神戸市地域防災計画上で水防対策実施が位置付けされている重要水防箇所の改修を優先的に行い、当該区間延長を11.1 km (H27)から8.2 km (H31)に減少させる。また、重要水防箇所に指定されている工作物を4箇所 (H27)から2箇所 (H31)に減少させる。</li> <li>河川整備計画規模の降雨により想定されている浸水面積を、321ha (H27)から22ha (H31)に減少させる。</li> </ul>																																			
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川整備計画に基づく河川改修延長(率) 【基幹3河川の要改修延長=27.8 km】</td> <td>55%</td> <td>57%</td> <td>62%</td> <td rowspan="4">*H29に兵庫県により、重要水防箇所の見直しが行われた。それを踏まえ、見直し前後で目標値を並列表記 上段→H29見直し前、下段→H29見直し後</td> </tr> <tr> <td>重要水防箇所に指定されている区間延長(片側延長) 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所区間延長=11.1 km】*</td> <td>11.1km (-)</td> <td>10.1km (24.0km)</td> <td>8.2km (18.6km)</td> </tr> <tr> <td>重要水防箇所に指定されている工作物(箇所) 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所の工作物4箇所】*</td> <td>4箇所 (-)</td> <td>2箇所 (9箇所)</td> <td>2箇所 (7箇所)</td> </tr> <tr> <td>河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積 (ha) 【H27当初の浸水想定面積=321ha】</td> <td>321ha</td> <td>38ha</td> <td>22ha</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	河川整備計画に基づく河川改修延長(率) 【基幹3河川の要改修延長=27.8 km】	55%	57%	62%	*H29に兵庫県により、重要水防箇所の見直しが行われた。それを踏まえ、見直し前後で目標値を並列表記 上段→H29見直し前、下段→H29見直し後	重要水防箇所に指定されている区間延長(片側延長) 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所区間延長=11.1 km】*	11.1km (-)	10.1km (24.0km)	8.2km (18.6km)	重要水防箇所に指定されている工作物(箇所) 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所の工作物4箇所】*	4箇所 (-)	2箇所 (9箇所)	2箇所 (7箇所)	河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積 (ha) 【H27当初の浸水想定面積=321ha】	321ha	38ha	22ha
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																																	
河川整備計画に基づく河川改修延長(率) 【基幹3河川の要改修延長=27.8 km】	55%	57%	62%	*H29に兵庫県により、重要水防箇所の見直しが行われた。それを踏まえ、見直し前後で目標値を並列表記 上段→H29見直し前、下段→H29見直し後																																
重要水防箇所に指定されている区間延長(片側延長) 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所区間延長=11.1 km】*	11.1km (-)	10.1km (24.0km)	8.2km (18.6km)																																	
重要水防箇所に指定されている工作物(箇所) 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所の工作物4箇所】*	4箇所 (-)	2箇所 (9箇所)	2箇所 (7箇所)																																	
河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積 (ha) 【H27当初の浸水想定面積=321ha】	321ha	38ha	22ha																																	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,760百万円	A	2,760百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																								
交付対象事業																																				
A1 河川事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																		
1-A-1	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業	L=630m、護岸工、橋梁架替	神戸市須磨区	H27	H28	H29	H30	H31	1,677	1.24	-	継続事業																		
1-A-2	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	明石川水系伊川都市基盤河川改修事業	L=700m、護岸工	神戸市西区						363	1.25	-	継続事業																		
1-A-3	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤2	明石川水系櫛谷川都市基盤河川改修事業	L=780m、護岸工	神戸市西区						720	4.88	-	継続事業																		
										小計 (河川事業)					2,760		-																			
B 関連社会資本整備事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																		
										合計					0																					
C 効果促進事業																																				
C1 河川効果促進事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																				
										合計																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																								
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																				
										合計					0																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																								

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

令和2年3月31日

計画の名称	1 神戸市における浸水対策の推進 (防災・安全)		重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	神戸市
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。		

交付金の執行状況

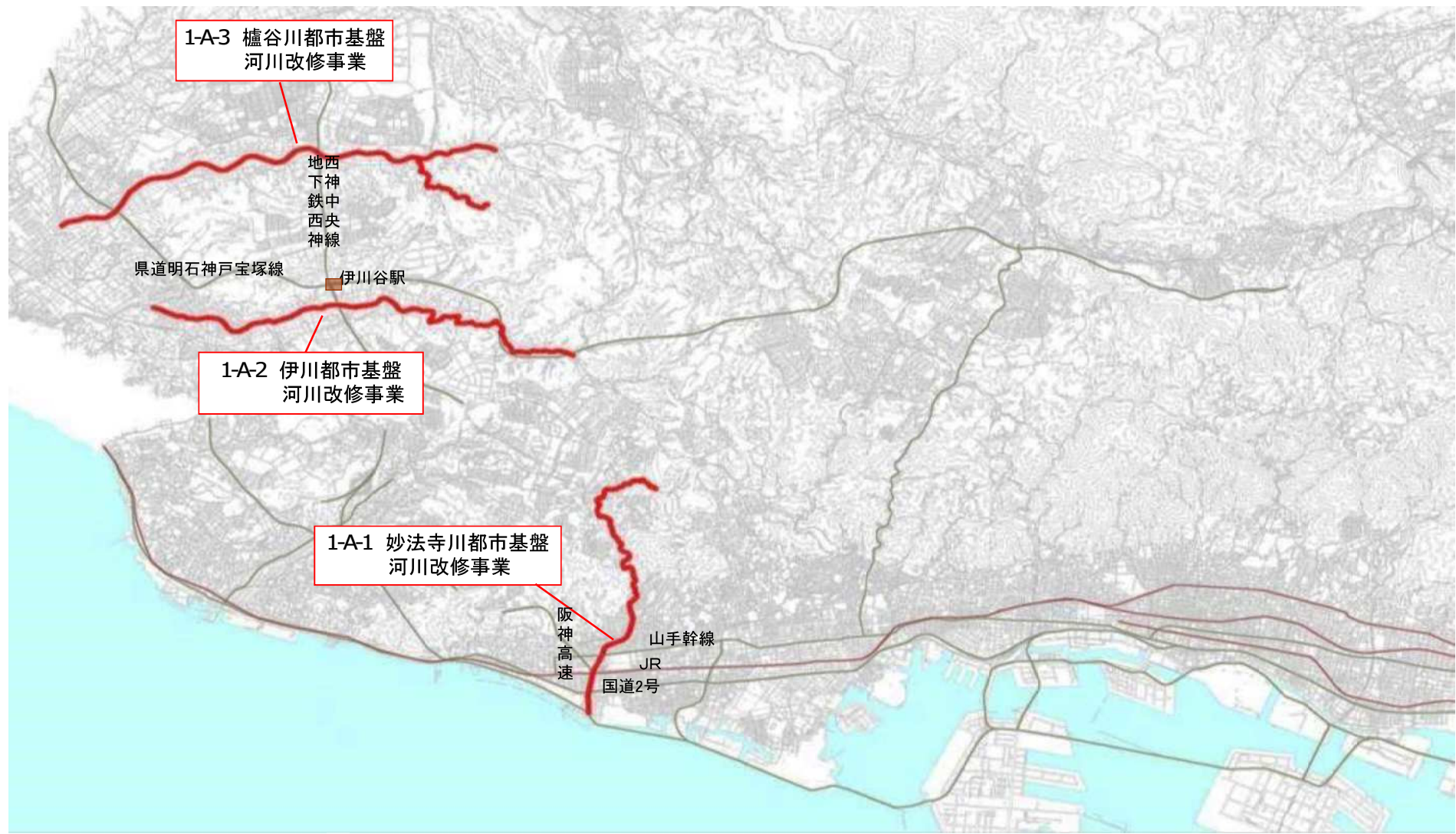
(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	184	184	184	203	183
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	184	184	184	203	183
前年度からの繰越額 (d)	100.5	82	137	60	105
支払済額 (e)	202.5	129	261	158	158
翌年度繰越額 (f)	82	137	60	105	130
うち未契約繰越額 (g)	47.5	0	0	18.3	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	16.7%	0.0%	0.0%	7.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	国道委託事業の進捗が減となったため				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	神戸市における浸水対策の推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	神戸市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

防災・安全交付金

計画の名称：神戸市における浸水対策の推進(防災・安全)

事業主体名：神戸市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合性	
河川整備基本方針と適合している。	○
②地域の課題への対応	
河川整備計画の目標と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
事業間の連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
予算計画との整合が図られ、事業実施のための無理のない予算執行環境が整っている。	○

# 社会資本総合整備計画

## 神戸市建設事業外部評価委員会説明資料

担当: 建設局河川課

1

### 1. 整備計画の内容

#### ○計画の名称

社会資本総合整備計画

「神戸市における浸水対策の推進(防災・安全)」

#### ○計画の期間

平成27年度～平成31年度(5年間)

#### ○交付対象

神戸市

2

## ○計画の目標

集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。

3

## ○治水事業のあゆみ

### ■昭和13年災害(阪神大水害)

昭和13年7月3日集中豪雨により表六甲地域を中心に大水害発生

⇒表六甲の比較的大きな河川から「国・県」で事業開始

(都賀川、住吉川、生田川、宇治川、新湊川等10河川)

### ■昭和42年災害

昭和42年7月9日台風7号により大水害発生

⇒都市基盤河川改修事業の創設により、

昭和45年から「県」に代わり「市」で事業を開始

これまでに18河川の事業を行い15河川が改修済み

(H26末時点)

4

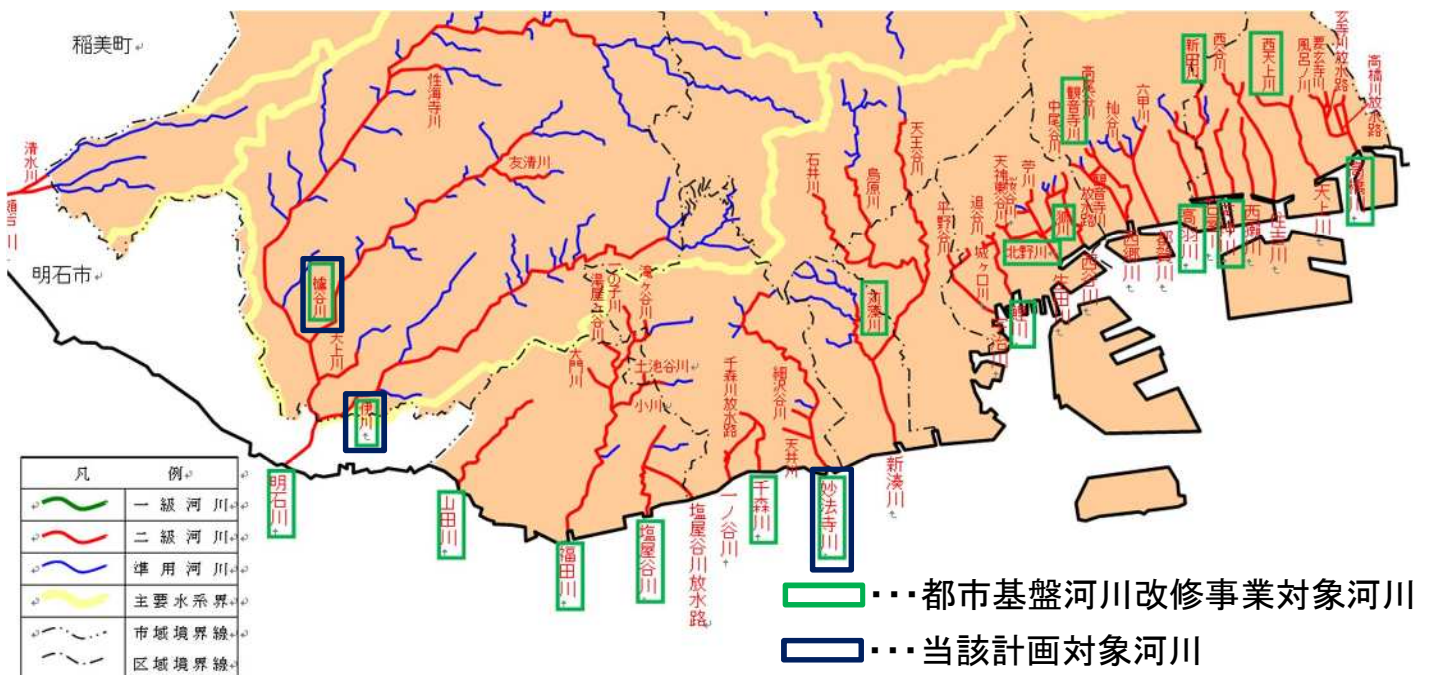
# ○都市基盤河川改修事業 進捗表

	河川名	確率	年度	
			着工	完了
1	天神川	1/30～300	S45	H13
2	新田川	1/150	S45	S59
3	北野川	1/30～50	S45	H14
4	妙法寺川	1/50	S45	R9
5	塩屋谷川	1/100	S45	H3
6	福田川	1/40	S45	S60
	福田川プロムナード*	—	H8	H21
7	苜蓿川	1/100	H7	H12
8	山田川	1/100	S47	S58
9	櫛谷川	1/50～150	S48	S58
10	鯉川	(一次)1/10	H6	R10
		(二次)1/30	S55	H5
11	伊川	(一次)1/10	S55	R5
		(二次)1/30	H19	
12	西天上川	1/60～300	S59	H4
13	狐川	1/40～300	S59	H11
14	千森川	1/100	S60	H11
15	観音寺川	1/100	S61	H20
16	高橋川	1/100	S62	H25
17	高羽川	1/100	S62	H16
18	明石川	1/10	H元	H19
		1/30	H16	H19

※妙法寺川、櫛谷川、伊川は河川整備計画の完了年度

5

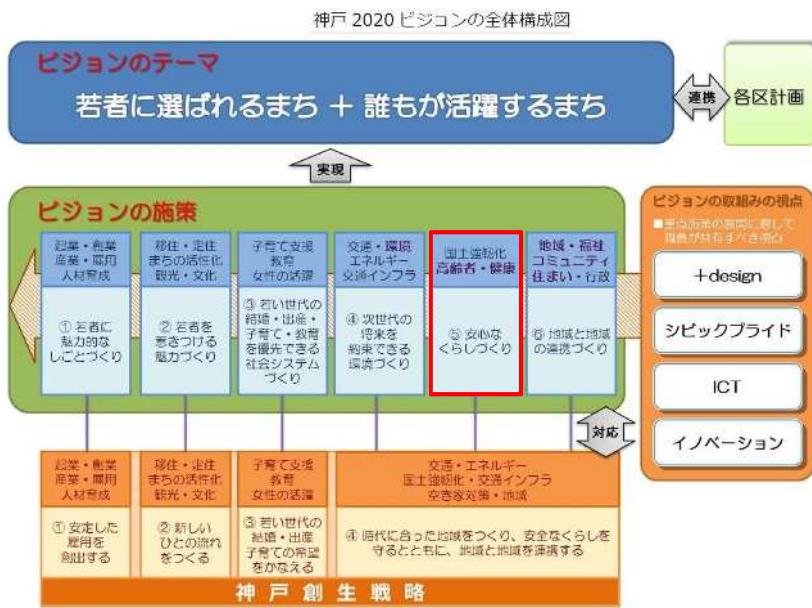
# ○都市基盤河川改修事業位置図



H27以降残事業となっている3河川(妙法寺川・伊川・櫛谷川)の改修事業を計画的に進める必要がある。

6

# ○市上位計画の位置付け(神戸2020ビジョン)



## 神戸2020ビジョンの意義と位置付け

○「新・神戸市基本構想」、「神戸づくりの指針」を実現するための5 年間の実行計画

○人口減少を克服し、地方創生を実現するための「神戸創生戦略」と一体的に作成

## 神戸における国土強靱化の推進(浸水対策)

浸水被害が多発している地区及び浸水が想定される地区の浸水対策や河川改修(表六甲水系、明石川水系など)を行います。

## 【目標とスケジュール】(都市基盤河川改修)

- ・延長1,840m、橋梁改良5橋
- ・2016年度～2020年度

7

# ○河川法における位置付け

(河川法第16条、16条の2)

河川管理者は、河川の整備を行う際には、「河川整備基本方針」「河川整備計画」を策定しなければならない。

⇒河川管理者である「兵庫県」が策定

(河川法第16条の3)

兵庫県が管理する河川の整備を市が行うことができる

⇒「河川整備基本方針」「河川整備計画」に基づき、市が工事を実施(都市基盤河川改修事業)

8



## ○整備水準の内容

### ■「河川整備基本方針」・・・最終目標

- ・「妙法寺川」「伊川」「櫛谷川」：100年確率規模の整備

### ■「河川整備計画」・・・向こう20年～30年の目標

- ・「妙法寺川」 : 50年確率規模の整備  
※最上流部は30年確率規模
- ・「伊川」「櫛谷川」 : 30年確率規模の整備

9

## ○整備計画の内容

河川整備計画では、

- ・河川工事の目的、種類及び施工の場所
- ・設置される河川管理施設の機能の概要

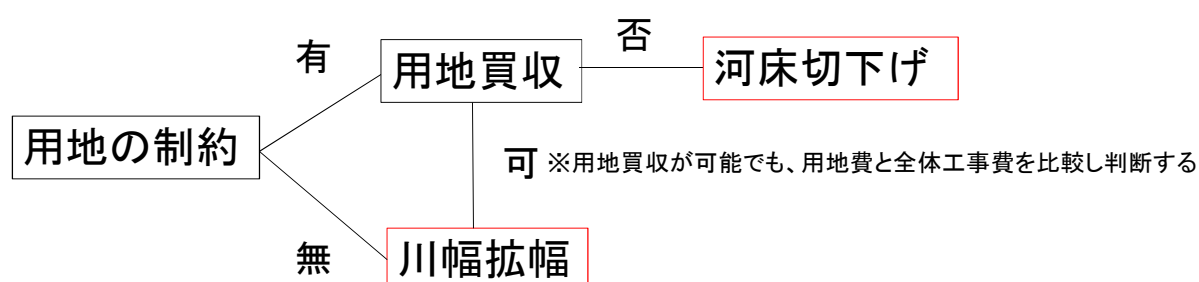
など、目標とする(確率規模の)流量を安全に流すための計画を定めている。

10

## ○工法の検討

具体的な工法（川幅を広げる、河床を切り下げる、など）については、工事費用と土地利用の観点から総合的に判断している。

例) 判断フロー



11

## ○計画の成果目標(定量的指標)

### ①河川整備計画に基づく河川改修延長(率)

基幹3河川の要改修延長 27.8km

改修延長(率) 55%【H27当初】 → **62%【H31末】**

### ②重要水防箇所指定されている区間延長(延長)

重要水防箇所残延長 11.1km【H27当初】 → 8.2km【H31末】

見直し後(※) 24.0km【H29末】 → **18.6km【H31末】**

### ③重要水防箇所指定されている工作物(箇所)

4箇所【H27当初】 → 2箇所【H31末】

見直し後(※) 9箇所【H29末】 → **7箇所【H31末】**

### ④河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積(ha)

321ha【H27当初】 → **22ha【H31末】**

(補足) ※H29に兵庫県により、河川改修の状況に応じた重要水防箇所の指定の見直しを実施され、  
②と③について目標値を見直している

# ○交付対象事業



## A基幹事業

- 1-A-1 妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業
- 1-A-2 明石川水系伊川都市基盤河川改修事業
- 1-A-3 明石川水系蘆谷川都市基盤河川改修事業

13

## 2. 各事業の概要

### 【1-A-1】妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業

事業者:神戸市 内容:護岸工、河床切下げ、橋梁架替 L=630m  
事業実施期間:平成27年度～平成31年度 全体事業費:1,677(百万円)

### 【1-A-2】明石川水系伊川都市基盤河川改修事業

事業者:神戸市 内容:河床切下げ L=700m  
事業実施期間:平成27年度～平成31年度 全体事業費:363(百万円)

### 【1-A-3】明石川水系蘆谷川都市基盤河川改修事業

事業者:神戸市 内容:河床切下げ L=780m  
事業実施期間:平成27年度～平成31年度 全体事業費:720(百万円)

【全体】 内容:護岸工、河床切下げ、橋梁架替 L=2,110m、全体事業費:2,760(百万円)

14

# 1-A-1 妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業

## 事業概要

当該河川は、市街地を流れ河道が狭小で非常に急峻な河川であり、昭和42年の集中豪雨により浸水家屋1,925戸等の甚大な被害が発生しており、早期に治水安全度の向上を図る必要があった。

昭和45年度より河川改修に取り組んでおり、現在も事業中である。

## 施行期間

昭和45年度から令和9年度(予定)

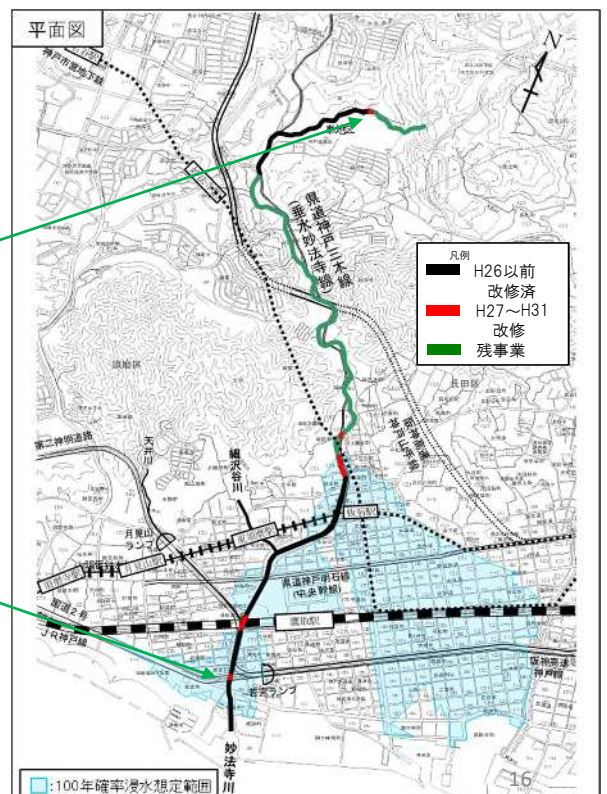
## 整備の方針

中流部の板宿地区(神戸市営地下鉄板宿駅付近)では、市街地であることから河道拡幅が困難なため、河床切下げ(低水護岸工)を行い50年確率規模の整備水準を目指す。

最上流部の車地区では、河道拡幅(護岸工)を行い30年確率規模の整備水準を目指す。

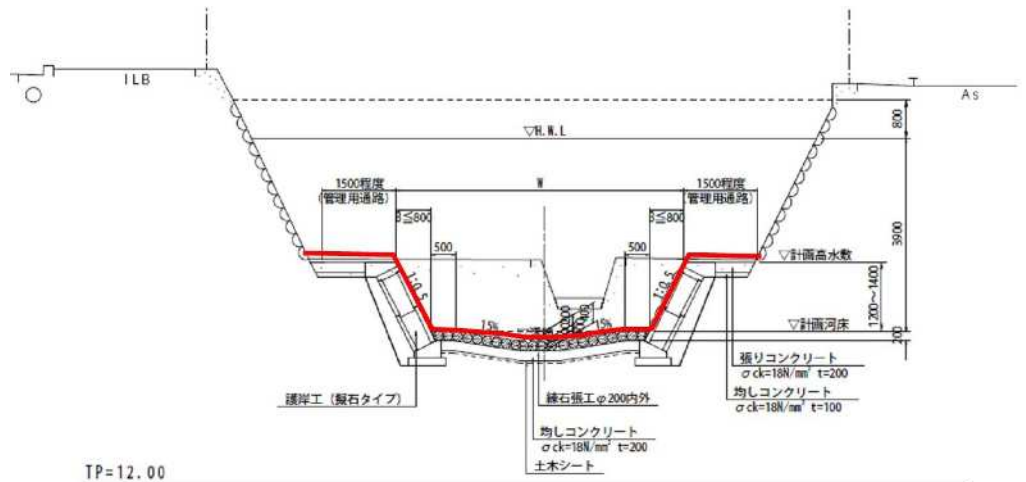
# 1-A-1 妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業

- 河川:妙法寺川水系妙法寺川
- 整備箇所:須磨区磯馴町他(板宿工区)  
須磨区車字野中(車地区)
- 工期:H27~H31
- 整備内容:護岸工、橋梁架替
- 整備延長:L=169m、5橋



# 1-A-1 妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業

## 標準断面図



流下能力	⇒	整備水準	流下能力
200m <sup>3</sup> /s		1/50	280m <sup>3</sup> /s

17

# 1-A-2 明石川水系伊川都市基盤河川改修事業

## 事業概要

当該河川は、過去に梅雨前線豪雨などによる被害が発生している一方、昭和40年代から神戸市のベッドタウンとして流域内で多くのニュータウンが開発され、著しい人口増加を示してきた。

昭和55年からは、県施工である明石川の整備状況に合わせて一次改修(10年確率規模)に着手しており、平成19年度からは二次改修(30年確率規模)の整備に取り組んでおり、現在も事業中である。

## 施行期間

昭和55年度から令和5年度(予定)

## 整備の方針

用地買収及び河道拡幅については、一次改修で完了をしており、二次改修では河床切下げ(低水護岸工)を行い、30年確率規模の整備水準を目指す。

18

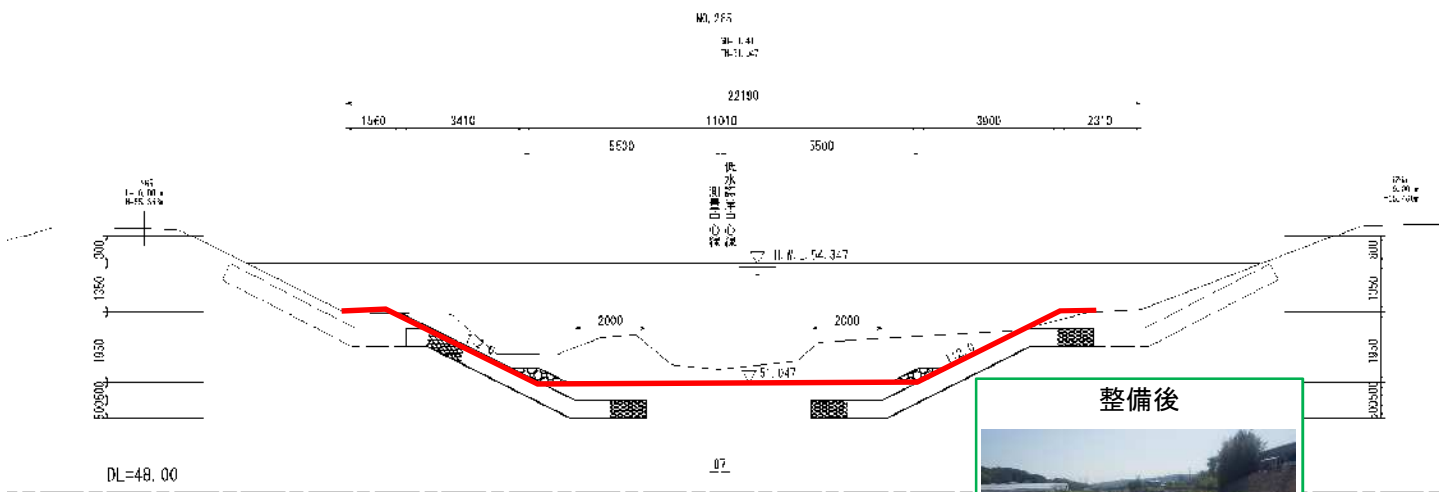
# 1-A-2 明石川水系伊川都市基盤河川改修事業

- 河川: 明石川水系伊川
- 整備箇所: 西区伊川谷町前開
- 工期: H27~H31
- 整備内容: 低水護岸工
- 整備延長: L=674m



# 1-A-2 明石川水系伊川都市基盤河川改修事業

## 標準断面図



整備水準	流下能力
(一次)1/10	250m <sup>3</sup> /s



整備水準	流下能力
(二次)1/30	300m <sup>3</sup> /s



# 1-A-3 明石川水系櫛谷川都市基盤河川改修事業

## 事業概要

当該河川は、過去に梅雨前線豪雨などによる被害が発生している一方、昭和40年代から神戸市のベッドタウンとして流域内で多くのニュータウンが開発され、著しい人口増加を示してきた。

昭和48年からは、県施工である明石川の整備状況に合わせて一次改修(10年確率規模)に着手しており、平成6年度からは二次改修(30年確率規模)の整備に取り組んでおり、現在も事業中である。

## 施行期間

昭和48年度から令和10年度(予定)

## 整備の方針

用地買収及び河道拡幅については、一次改修で完了をしており、二次改修では河床切下げ(低水護岸工)を行い、30年確率規模の整備水準を目指す。

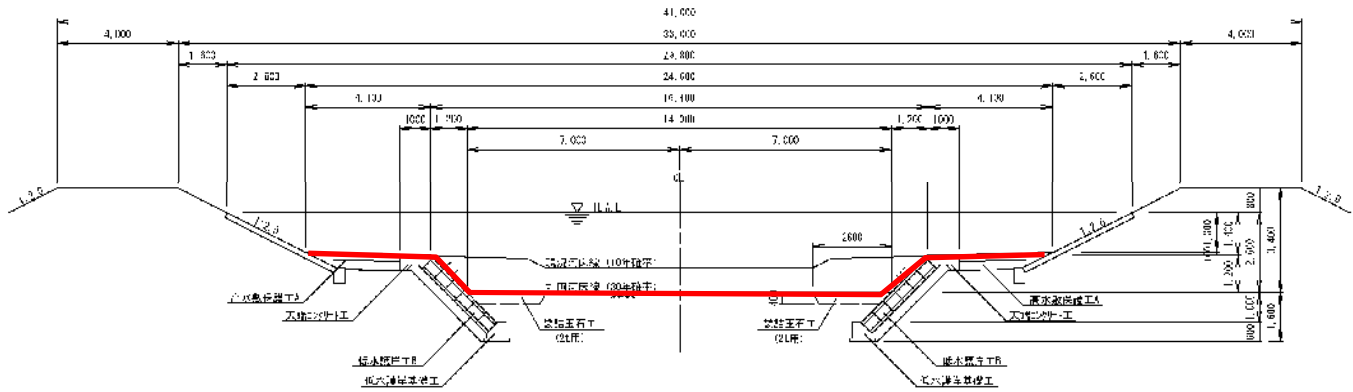
# 1-A-3 明石川水系櫛谷川都市基盤河川改修事業

- 河川: 明石川水系櫛谷川
- 整備箇所: 西区櫛谷町池谷
- 工期: H27~H31
- 整備内容: 低水護岸工
- 整備延長: L=581m



# 1-A-3 明石川水系櫛谷川都市基盤河川改修事業

## 標準断面図



整備水準	流下能力
(一次)1/10	200m <sup>3</sup> /s



整備水準	流下能力
(二次)1/30	270m <sup>3</sup> /s



23

## 環境への配慮

■環境への影響を考慮し、環境配慮型ブロックの使用や緩傾斜落差工を施工するなどして、植物や魚類に配慮した整備を行っている。

例) 櫛谷川



1~2年後



24

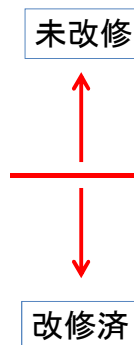


### 3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・継続中3河川(妙法寺川・伊川・櫛谷川)は、河川整備計画に基づく必要断面の確保を行うとともに、治水安全度の向上を図れた。
- ・河川改修に伴い、重要水防箇所に指定されている区間延長を減らすことができた。

■平成27年 台風11号  
櫛谷川の増水時の様子



25

### 3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### II 定量的指標の達成状況

- ①河川整備計画に基づく改修延長(率) H27当初55% 目標:62%(2,110m) ⇒ **実績:60%(1,424m)**
- ②重要水防箇所に指定されている区間延長(延長)  
(H27当初11.1km)H29末24.0km 目標:18.6km ⇒ **実績:19.9km**
- ③重要水防箇所に指定されている工作物(箇所)  
(H27当初4箇所)H29末9箇所 目標:7箇所 → **実績:7箇所**
- ④河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積(ha)  
(H27当初321ha)H29末38ha 目標:22ha ⇒ **実績:22ha**

(補足)H29に兵庫県により、河川改修の状況に応じた重要水防箇所の指定の見直しを実施され、  
②と③について目標値を見直している

26

### 3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### Ⅱ 定量的指標の達成状況

##### ①河川整備計画に基づく改修延長(率)

目標: 62%(2,110m) ⇒ **実績: 60%(1,424m)**

##### ②重要水防箇所指定されている区間延長(延長)

目標: 18.6km ⇒ **実績: 19.9km**

(補足)H29に兵庫県により河川改修の状況に応じた重要水防箇所の指定の見直しが実施され、目標値を見直している

#### ○考察

河川改修(区間)延長が目標に達しなかった主な原因は、妙法寺川の改修時に地すべりが発生しその対策に時間を要したことである。今後は、地すべり対策を並行しながら改修延長の進捗を図っていきたい。

27

### 3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### Ⅱ 定量的指標の達成状況

##### ③重要水防箇所指定されている工作物(箇所)

目標: 7箇所 → **実績: 7箇所**

(補足)H29に兵庫県により河川改修の状況に応じた重要水防箇所の指定の見直しが実施され、目標値を見直している

#### ○考察

当初の目標通り達成することができている。今後も道路事業や街路事業との連携を図りながら、支障となる橋梁の改築を進めていきたい。

28

### 3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### Ⅱ 定量的指標の達成状況

##### ④河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積(ha)

目標:22ha ⇒ **実績:22ha**

##### ○考察

当初の目標通り達成することができている。今後も河川改修によって想定される浸水面積(浸水区域内の資産被害)を減らしていきたい。

29

### 4. 特記事項(今後の方針等)

- ・都市基盤河川改修事業として、引き続き妙法寺川・伊川・櫛谷川の3河川の改修を鋭意進め、治水安全度の向上に努める。
- ・河川改修事業を主体的に進めるとともに、官民が相互に連携して流域・減災対策を進めることで「総合治水推進計画」を推進する。

- 総合治水は、**河川下水道対策** **流域対策** **減災対策** を組み合わせることにより、降雨による浸水の発生を抑制し、浸水被害を軽減することを目的として推進します。
- 総合治水は県・市町・県民が、相互に連携し、協働して推進します。
- 総合治水は、環境の保全と創造に配慮して推進します。

県の責務

総合治水に関する総合的・計画的な施策の策定・実施

市町の責務

各地域の特性を生かした施策の策定・実施

県民の責務

・雨水の流出抑制と浸水発生への備え  
・行政が実施する総合治水に関する施策への協力



30